

**令和6年度 第3回大阪府都市公園指定管理者評価委員会
会議概要**

1. 日 時: 令和7年3月 24 日(月曜日)午後3時～午後5時30分
2. 場 所: 大阪府庁別館7階
3. 出席者: 下村委員長、赤澤委員、奥田委員、森重委員、八木委員 5名
4. 議 題: (1)指定管理業務の評価について
(2)指定管理優良業務表彰について
5. 主な議事内容 (●:委員 ○:事務局)

(1)指定管理業務の評価について

- ・第2回評価委員会での指摘を受け、評価の変更やコメントの案を修正したことを事務局より説明。
- ・住吉公園の指定管理業務の評価に係る住吉公園P－PFI事業に関する令和6年度の評価について、事務局及び鳳土木事務所より説明。
 - 評価が C の公園のコメントについて、良くないことのみを記載する形になっているが、一定の努力は認めるなど、良い点や来年度以降の期待を記載する必要はないか。
 - コメントが「厳しい評価をせざるを得ない。」と結論付けている点は同じであるにもかかわらず、評価が B と C のように異なるものがあり、整合性がない。
→委員長預かりで、事務局とコメントの記載を調整する。
- ・評価が B、C であった項目について、改善のための対応方針を各土木事務所より説明。
 - 土木事務所は履行確認をきちんとしていただくよう、よろしく。
 - 例えば、「利用ルールを周知」という対応方針がきちんとなされ、活用のハードルが下がり、イベントが増えるというふうに、改善により駄目であったところを潰したというだけではなく、良くなったとなれば良い。

(2)指定管理優良業務表彰について

- ・土木事務所から推薦のあった5公園(枚岡、錦織、住吉、りんくう、せんなん里海)について、各土木事務所・指定管理者より説明の後、質疑応答。

【住吉公園】

- SNS の情報発信がうまくいっている。フォロワー以外にもうまく情報発信できている。うまくいった要因は。
→汐かけ横丁ができたことをきっかけに、ハッシュタグを工夫した。
- P－PFI事業の各テナント、P－PFI事業者、指定管理者との関係は。
→各テナントと指定管理者が協力や相談をしている。
- 公園開設 150 周年の資料展示は昨年度からの継続か。
→展示室は昨年度から継続している。「歴史探訪」という冊子も継続して刊行している。

【りんくう公園】

- 公式YouTubeを見てもらうためにどのような工夫をしているのか。
→公園の日常管理を紹介している。タイトルを短くて分かりやすいようにしている。

- パドルボートについて、指導者がついているか。また、保険に加入しているか。

→スタッフが必ず付いて指導している。保険には加入している。

- YouTubeによる情報発信がサービス向上等のどのような成果につながったのか。

→アンケートでは把握できないが、来園者は増加した。来年度以降のアンケートでは、公園を認知した理由を質問し、SNSを回答の選択肢に入れることを考える。

【せんなん里海公園】

- アマモ再生活動に取り組む岬高校の高校生は、どなたかと協力・連携しているのか。

→高校生が指定管理者と一緒に調査し、その結果をもとに小学生に授業をしている。

- 自然環境学習の開始の経緯は。

→指定管理者公募時の条件で、海洋環境学習を目的としたしおさい学習館の特性を活かすこととしており、指定管理者が継続して自然環境学習を行っている。

【審査結果について】

○委員の評価結果の集計では、枚岡公園、住吉公園、りんくう公園が12点、錦織公園、せんなん里海公園が11点。

- 枚岡公園は、学校や周辺施設など、公園外との連携を積極的に展開している点が評価できる。また、小さな公園で地道に努力されているところも評価したい。

- 住吉公園は、今まで公園を利用していない人にアプローチしていて、積極的に新しい利用者層を獲得している点とテナントとの連携という日常業務も頑張っている点を評価。

- りんくう公園は、従来の公園利用者とは異なる層に訴求できた。緑が好きな人だけではなく、ライフスタイルを公園から発信するというのが良い。トイレが詰まっているという日常管理を見せるという、今までの公園とは違う公園の見せ方を工夫している点が良い。

- 錦織公園は、昔からずっと頑張っておられる。

- せんなん里海公園は、海というテーマで取り組んでいて、悪くない。

- 委員会の意見としては、知事賞を枚岡公園、特別賞を住吉公園、りんくう公園とする。

(2)その他事項

○来年度のスケジュールは4月24日に優良業務表彰、年度内に委員会3回、現地視察7回の予定。

○活性化調査部会は、事務局側の都合で、部会で議論いただくところまでいかなかった。来年度はスケジュール感をもって、ハード・ソフトとも大阪府としてどこまでするかという方向性を議論いただきたい。来年度の協力をお願いする。